

地域支援だより

平成24年11月26日

第28号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

秋田きらり支援学校卒業後の進路について

開校以来の本校高等部卒業後の進路は、生徒の幅広い実態から以下のとおりとなっています。年度によって生徒の構成が変わりますので、あくまで現時点までの傾向として示しています。

高等部卒業生は各年度11人～15人の推移があります。

①進学（大学、専門学校、訓練校等）

開校以来、その年度に1～2名ほどの大学進学、専門学校進学があります。

②一般就労（企業入社、パート等）

開校以来、その年度に1～2名ほどの一般就労があります。最近の就職難の実状は変わりありませんが、障害者雇用率の引き上げにより、多少のチャンスも生じています。

③通所施設の利用

割合としては、最も人数が多く、7～10名が自宅から通所施設を利用し、主に生活介護というサービスを受けることとなります。また2～3名が福祉的就労に進みます。

<福祉的就労（作業所通所～就労継続支援A・B等）>

最近様々な事業所が誕生しています。最低賃金が保証される雇用型のA、利用者それぞれのペースで作業する非雇用型のB等のサービスがあります。

<生活介護（ディサービス、日中一時支援等）>

通う日数や時間、過ごし方はそれぞれです。施設によって給食があったり、入浴ができたりします。家族が送迎する場合や施設側で送迎してくれる場合があります。看護師が配置されている施設もあります。

④施設入所での生活

基本的に昼夜を施設で過ごします。様々な活動やリハビリ、行事等、施設によって工夫がなされています。年度に2～4名の入所があります。施設によって希望者が多い際は待機となる場合があります。

⑤病院での生活

日常生活全般にわたって医療面での観察が必要な場合は病院での生活を選択します。年度に2～4名ほど希望しています。希望者が多い際は待機となる場合があります。

⑥在宅での福祉サービス利用

通所・入所が難しい在宅の生徒は、自宅で様々な福祉サービスを利用しながら生活しています。年度に1～2名ほどです。

※この他にも様々なかたちの進路があります。児童生徒の個性を大切に、適切な進路指導に努めています。

連載 本校の授業の様子～中学部 自立活動の学習から～



様々な素材に触れ、その特性をじっくり触覚・嗅覚・視覚等で感じ、「なんだか不思議だなあ」「気持ちいいなあ」などという自分の気持ちを表現できることをねらった教材のひとつに、市販の寒天に身近な香辛料を加えて作った物があります。自立活動の指導の時間に使用しています。今回はその教材の作り方や指導上で配慮している点を紹介します。



【カレー・シナモン・コーヒー寒天の作り方】

市販の粉寒天にお湯を入れて溶かし、市販のカレールー（シナモンパウダー、インスタントコーヒーも同様）を加え、冷蔵庫で冷やします。その際、触れたとき、ほんのり温かさを感じる程度の温度まで冷ますことがポイントです。※市販のエステゼリーもおすすめです！子どもたちが手を入れている容器に少しずつエステゼリーの粉とぬるま湯を入れ、固まっていく感触もおもしろいですよ！

【指導上の配慮点】

- ・一人一人の生徒にあった「身体の緊張が緩む姿勢」「物が見やすい姿勢」「手指を動かしやすい姿勢」を整えるよう、配慮しています。
- ・学習の始めには、上肢の緊張を緩めたり、触覚刺激を感じやすくなったりできるように、歌に合わせて指先から肩までのマッサージをしてから活動するようにしています。
- ・手指の感覚に過敏な生徒には、手の甲側から触れるようにするなどして、少しずつ感覚に慣れるようにしています。また、冷たい物に触れる場合は、初めに容器に触れてみるなど、その感覚に慣れてから触れるようにしています。（←「冷たい感覚は痛みの刺激に似て、強い感覚を感じることもある」という外部専門家（OT）からの助言を受けて）

新連載！本校のタブレット型端末の活用

本校では、様々な学習場面でタブレット型端末（本校では主に iPad）を活用して学習活動を展開する取り組みを始めています。



☆タブレット型端末でできること

・写真や動画の撮影と記録 ・インターネット検索 ・動画による通信 ・音楽の再生 ・楽器の代用 等
次号よりこれらの機能やアプリケーションを活用した本校の実践例、おすすめのアプリケーション、ソフトバンクと東京大学先端技術科学研究センターとの共同研究（魔法のじゅうたんプロジェクト）の実践などを紹介していきます。お楽しみに！

※ iPad は米国及びその他の国々で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。



教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

次号は12月21日発行予定です。